

那覇市歴史博物館所蔵「歴代宝案」に関する史料学的考察

—生成・来歴・目録記述に焦点をあてて—

川島 淳

はじめに

「歴代宝案」は、琉球王府の外交文書や文案を集成したものである。「歴代宝案」の分析によって、前近代東アジア秩序における琉球王国の位置の一端が明確になる。しかし、「歴代宝案」の原本は現存せず、写本などに頼らざるをえない⁽¹⁾。

「歴代宝案」は、三集二六二巻、別集三で構成されていたという。「歴代宝案」第一集は一四二四年から一六九六年までの、久米村天妃宮所蔵の旧案を四九巻にまとめたものである。第二集は、程順則らの監修によって当初一七二九年の文書を編集の対象としたが、その後も逐次編集され、一六九七年から一八五八年までの間の文書をまとめたものであり、二〇〇巻で構成されている。第三集は、一八五九年から一八六七年までの文書を一三巻にまとめたものである。以上は、原本が現存しないため、推論の域を脱しきれていないが、筆者もこれに基づくことにする。

さて、「歴代宝案」第一集は二部作成されて、それぞれが首里王府と天妃宮に所蔵されていた⁽²⁾。第二集・第三集についても、第一集と同様の措置がとられたものと考えられている。首里王府所蔵の「歴代宝案」は「琉球処分」後に近代日本によって接收され、沖縄県庁に保管され、その後東京の内務省に移管された。しかし、一九二三（大正一二）年の関東大震災によって焼失した。他方の、天妃宮保管の「歴代宝案」第一集は「歴代宝案」第二集とともに、一九三一（昭和六）年に久米村の旧家で発見され、一九三三（昭和八）年に県立図書館に寄託された。その際の条件は、委託者の請求によっていつでも返還できること、原本を厳重に保管し、閲覧には作成した写本をあてることであった。こうして、県立図書館で「歴代宝案」の原本が所蔵されるとともに、「歴代宝案」の写本が作成されることになった。その後、「歴代宝案」の原本は、沖縄戦によって焼失したと言われている。写本は現在那覇市歴史博物館に所蔵されている。このように、琉球王国時代に二部作成された「歴代宝案」の原本は、「琉球処分」によって沖縄が日本の版図に組み込まれた後、関東大震災や沖縄戦によって失われた。

戦後になると、「歴代宝案」の写本が収集・公開されるようになった。現在、沖縄県立芸術大学附属研究所所蔵の鎌倉芳太郎青写真本・沖縄県立図書館所蔵の東恩納寛惇青写真本と写本・中华民国台湾大学所蔵の写本・東大資料編纂所筆写本・鄭良弼写本・那覇市歴史博物館所蔵の旧県立図書館所蔵写本などが存在している。こうした写本に基づいて、自治体史編纂事業において「歴代宝案」の「復元」が試みられてきた。那覇市史では、東恩納寛惇旧蔵の青写真版と台湾大学刊行の影印本を底本とし、青写真版の鎌倉本・東恩納筆写本・鄭良弼本を参照して、前掲『那覇市史 資料編第一巻四 歴代宝案第一集抄』が編集・刊行された。他方、沖縄県史編纂事業においては、鎌倉芳太郎写本を底本として、各写本との比較検討による校訂のうえ、刊行されている。このように、「歴代宝案」の写本が収集・公開されるとともに、「復元」作業がなされるようになったのである。

ところで、那覇市立中央図書館より移管されて同市歴史博物館に所蔵されている「歴代

かわしま じゅん（那覇市歴史博物館古文書解説員）

宝案」の写本を、二〇一一（平成二三）年七月に筆者は整理した。整理の対象となったのは、桑江克英ら筆写の「一集 歴代宝案」と久場政盛ら筆写の「二集 歴代宝案」という旧県立図書館所蔵の写本⁽³⁾と、川平朝申寄贈の「歴代宝案」である。これらは、戦後に旧石川市（現うるま市）沖縄中央図書館で所蔵されていたが、「祖国復帰」後に那覇市立中央図書館に引き継がれた。このように、戦後沖縄の社会的状況によって翻弄された「歴代宝案」の写本は、現在那覇市歴史博物館に所蔵されるに至った。

「歴代宝案」第一集の写本に関する生成や来歴については、既述のように、いくつかの先行研究がある。なかでも、前掲『「歴代宝案」第一集解説』では『歴代宝案』第一集の編集や収集文書の形式にとどまらず、現存する写本などの生成や来歴についても詳述されている。そして、本稿の対象となる「旧県立沖縄図書館副本」に関しても、筆写及び罫紙の形態などについて詳述している。こうした和田久徳の見解に基づきながら、本稿では、当館所蔵の「歴代宝案」を対象として、各々の生成や来歴について明確にし、目録記述の方法を説明する。そして琉球・沖縄史料学構築の必要性についても、若干触れたいと考える。

一、那覇市歴史博物館所蔵「歴代宝案」の生成と来歴

那覇市歴史博物館所蔵の「歴代宝案」一〇九点は、那覇市立中央図書館が所蔵していたものであり、二〇一一（平成二三）年三月三〇日に当博物館に移管された資料群である。この一〇九点のうち、戦前期に桑江克英らが筆写した「一集 歴代宝案」は三一点であり、久場政盛らが筆写した「二集 歴代宝案」は六八点であり、合計九八点が旧県立図書館作成の写本である。また川平朝申が戦後に沖縄中央図書館に寄贈した「歴代宝案」は一一点である。つまり、那覇市歴史博物館では、桑江克英ら筆写の「一集 歴代宝案」と久場政盛ら筆写の「二集 歴代宝案」、川平朝申寄贈の「歴代宝案」の一〇九点が所蔵されている。以上の全体像は【表 1】の通りであるが、【表 1】に関しては、二で詳述することにし、以下、各々の生成と来歴について検討する。

1. 旧県立図書館写本の「一集 歴代宝案」・「二集 歴代宝案」の生成と来歴

「歴代宝案」は首里王府と天妃宮に所蔵されていた。王府所蔵の「歴代宝案」は内務省に移管されたものの、一九二三（大正一二）年の関東大震災によって焼失した。他方、天妃宮所蔵の「歴代宝案」は一九三一（昭和六）年に久米村の旧家で発見され、一九三三（昭和八）年に以下の条件で県立図書館に寄託された。条件とは、委託者の請求によっていつでも返還できること、原本を厳重に保管し、閲覧には作成した写本をあてることであった。

こうして、戦前の県立図書館において「歴代宝案」の写本が作成された。この写本には、桑江克英ら筆写の「一集 歴代宝案」と久場政盛ら筆写の「二集 歴代宝案」の一部が現在那覇市歴史博物館に所蔵されている。以下では、桑江克英ら筆写の「一集 歴代宝案」・久場政盛ら筆写の「二集 歴代宝案」の生成と来歴について確認しよう。

まず「一集 歴代宝案」の表紙は、濃い茶色の革製の表紙【写真 1】と、薄い茶色の厚紙製の表紙【写真 2】の二種類である。「一集 歴代宝案」は、基本的に【写真 1】の濃い茶

【表1】歴代宝案

大分類	番号	仮番号	タイトル	副題	巻	年代	資料群	形態	法量(cm)				備考
									縦	横	厚さ	丁数	
1	1	2-9	歴代宝案	自永楽20年 至康熙9年 附第1集目録	巻1	1422年～1670年	旧県立図書館写本 桑江克英ら	久米村歴代宝案用8行×2黒罫紙99丁に墨筆	27.8	19.2	0.8	99丁	中性紙箱12 久米村歴代宝案用8行黒罫紙99丁に墨筆。 55丁目・77丁目・92丁目・99丁目に台紙あり。 見返しに「昭和十年二月桑江克英写 九十九枚」との墨筆及び「昭和十四年八月四日校合」との朱筆あり。
1	2	8-3	歴代宝案	自永楽26(22)年 至万暦48年	巻1	1424年～1620年	旧県立図書館写本 桑江克英ら	久米村歴代宝案用8行×2黒罫紙100丁に墨筆	28.5	20.1	0.9	100丁	中性紙箱9 表紙には万年筆書きによる後筆あり 見返しには「昭和九年十一月 桑江克英謄写 表紙共百弍枚」との墨筆あり。 原本では「景泰六年」が「永楽二十六年」に訂正されているが、内容では「永楽二十二年」であり、標題の誤り。
1	3	8-2	歴代宝案	起弘治7年 至崇禎17年	巻2	1494年～1644年	旧県立図書館写本 桑江克英ら	久米村歴代宝案用8行×2黒罫紙98丁に墨筆	28.3	20.4	0.7	98丁	中性紙箱9 20丁と21丁の間に「二巻 九十六枚」との赤ボールペン書きのある紙片(3.0×16.6cm)あり。 96枚と最後に示されているが、98丁あり。おそらく内題と最後の2丁分を除いた丁数が96枚であることを示したものであると思われる。
1	4	8-1	歴代宝案	起順治4年 至康熙32年	巻3	1647年～1644年	旧県立図書館写本 桑江克英ら	久米村歴代宝案用8行×2黒罫紙50丁に墨筆	28.3	20.4	0.3	98丁	中性紙箱9 電子複写版B4用紙3枚が最後に挿入されている。
1	5	2-8	歴代宝案	自宣徳2年 至崇禎13年	巻4	1427年～1640年	旧県立図書館写本 桑江克英ら	久米村歴代宝案用8行×2黒罫紙56丁に墨筆	27.9	19.0	0.5	56丁	中性紙箱12 18丁目に「巻之四」との赤ボールペン書きのある紙片あり。 37丁目に「巻二」との黒ペン書きのある紙片あり。 見返しに「昭和十年二月 桑江克英写 五十六枚」との墨筆あり。
1	6	1-7	歴代宝案	起順治6年 至康熙8年	巻5	1649年～1669年	旧県立図書館写本 桑江克英ら	久米村歴代宝案用8行×2黒罫紙64丁に墨筆	28.6	20.2	0.4	64丁	中性紙箱10 1丁目に「巻五 六十二枚」との赤ボールペン書きのある紙片あり。
1	7	1-6	歴代宝案	起康熙13年 至全34年	巻7	1674年～1695年	旧県立図書館写本 桑江克英ら	久米村歴代宝案用8行×2黒罫紙55丁に墨筆	28.4	20.3	0.3	55丁	中性紙箱10 30丁目に「礼部咨 巻之八 5」との鉛筆書きのある紙片あり。
1	8	1-5	歴代宝案	起崇禎元年 至全12年	巻9	1628年～1639年	旧県立図書館写本 桑江克英ら	久米村歴代宝案用8行×2黒罫紙80丁に墨筆	28.4	20.4	0.7	80丁	中性紙箱10 49丁目に「巻九 七十八枚」との赤ボールペン書きの紙片あり。
1	9	1-4	歴代宝案	起康熙25年 至全36年	巻11	1686年～1697年	旧県立図書館写本 桑江克英ら	久米村歴代宝案用8行×2黒罫紙74丁に墨筆	28.3	20.3	0.5	74丁	中性紙箱10

大分類	番号	仮番号	タイトル	副題	巻	年代	資料群	形態	法量(cm)				備考
									縦	横	厚さ	丁数	
1	10	2-7	歴代宝案	自万暦6年 至崇禎17年	巻13	1578年～1644年	旧県立図書館写本桑江克英ら	久米村歴代宝案用8行×2黒罫紙53丁に墨筆	28.2	19.1	0.5	53丁	中性紙箱12 1丁目に「表奏巻之十三 8」との黒及び朱鉛筆書きのある紙片あり。 見返しに「昭和九年十一月 桑江克英写五十三枚」との墨筆及び「昭和十四年八月十六日校合」との朱筆あり。
1	11	2-6	歴代宝案	順治6年 康熙19年	巻14	1649年～1680年	旧県立図書館写本桑江克英ら	久米村歴代宝案用8行×2黒罫紙に墨筆	28.0	19.0	0.4	56丁	中性紙箱12 9丁目及び12丁目が半分欠落(破損。はさみで裁断したような痕跡あり) 5丁目に「一四 1-14」との黒ペン及び黒鉛筆書きのある紙片あり。
1	12	10-5	歴代宝案	起康熙21年 至全35年	巻15	1682年～1696年	旧県立図書館写本桑江克英ら	久米村歴代宝案用8行×2黒罫紙60丁に墨筆	28.4	20.4	0.3	60丁	中性紙箱1
1	13	2-5	歴代宝案	起正統元年 至成化15年	巻17	1436年～1479年	旧県立図書館写本桑江克英ら	久米村歴代宝案用8行×2黒罫紙47丁に墨筆及び朱筆	28.0	19.0	0.5	47丁	中性紙箱12 34丁目に「巻十七 1-17」との赤ボールペン及び黒鉛筆書きのある紙片と、「口王咨 巻之十七」との黒鉛筆書きのある紙片あり。 見返しに「昭和八年十二月桑江克英写 四十七枚」との墨筆及び「昭和十四年八月十四日校合」との朱筆あり。
1	14	2-4	歴代宝案	自成化17年 至天啓7年	巻18	1481年～1627年	旧県立図書館写本桑江克英ら	久米村 歴代宝案用8行×2黒罫紙87丁に墨筆及び朱筆	27.5	18.8	0.5	87丁	中性紙箱12 1丁目に「巻之十八 1-18」との赤ボールペン及び黒鉛筆書きのある紙片あり。 見返しに「昭和九年十一月七日 桑江克英写」との墨筆と「昭和十四年八月十四日校合」との朱筆あり。また「八十七枚」との墨筆あり。
1	15	1-2	歴代宝案	起崇禎9年 至全17年	巻20	1636年～1644年	旧県立図書館写本桑江克英ら	久米村歴代宝案用8行×2黒罫紙89丁に墨筆	28.3	20.4	0.5	89丁	中性紙箱10
1	16	7-10	歴代宝案	起順治6年 至康熙19年	巻21	1649年～1680年	旧県立図書館写本桑江克英ら	久米村歴代宝案用8行×2黒罫紙84丁に墨筆	28.4	19.6	0.6	84丁	中性紙箱11 見返しに「昭和十年一月 桑江克英写 八十四枚」との墨筆あり。
1	17	1-3	歴代宝案	起康熙21年 至全35年	巻22	1682年～1696年	旧県立図書館写本桑江克英ら	久米村歴代宝案用8行×2黒罫紙54丁に墨筆	28.3	20.3	0.4	54丁	中性紙箱10 一丁目に「巻十五 五十二枚」との赤ボールペン書きの紙片及び「口王奏 巻之十五」と書かれた紙片あり。

大分類	番号	仮番号	タイトル	副題	巻	年代	資料群	形態	法量(cm)				備考
									縦	横	厚さ	丁数	
1	18	7-9	歴代宝案	起宣徳元年 至成化23年	巻23	1426年～1487年	旧県立図書館写本 桑江克英ら	久米村歴代宝案用8行×2黒野紙53丁に墨筆	27.5	19.0	0.5	53丁	中性紙箱11 36丁目と37丁目の間に「巻之二十二 1～23」との赤ボールペン及び黒鉛筆書きのある紙片(16.1×3.0cm)あり。 見返しに「昭和八年十二月 桑江克英写 五十三枚」との墨筆及び「昭和十四年八月十一日校合」との朱筆あり。
1	19	7-8	歴代宝案	起弘治2年 至同17年	巻24	1489年～1504年	旧県立図書館写本 桑江克英ら	久米村歴代宝案用8行×2黒野紙50丁に墨筆及び朱筆	28.3	19.1	0.4	50丁	中性紙箱11 見返しに「昭和九年十一月 桑江克英写 五十枚」との墨筆及び「昭和十四年八月十六日校合」との朱筆あり。
1	20	2-10	歴代宝案	起正徳元年 至嘉靖46年 符文	巻25	1506年～1567年	旧県立図書館写本 桑江克英ら	久米村歴代宝案用8行×2黒野紙74丁に墨筆	27.8	19.0	0.6	74丁	中性紙箱12 見返しに「昭和八年十二月十一日 桑江克英写 七十四枚」との墨筆及び「昭和十四年八月十六日校合」との朱筆あり。
1	21	2-11	歴代宝案	起隆慶2年 至崇禎17年	巻26	1568年～1644年	旧県立図書館写本 桑江克英ら	久米村歴代宝案用8行×2黒野紙74丁に墨筆	28.2	19.4	0.5	74丁	中性紙箱12 1丁目に「巻二六」との黒ペン書きのある紙片及び「巻之廿六 符文」との黒鉛筆書きのある紙片あり。 見返しに「昭和九年十二月 桑江克英写 七十四枚」との墨筆及び「昭和十四年八月十六日校合」との朱筆あり。
1	22	7-2	歴代宝案	順治15年 康熙35年	巻27	1658年～1696年	旧県立図書館写本 桑江克英ら	久米村歴代宝案用8行×2黒野紙47丁に墨筆	27.8	19.0	0.5	47丁	中性紙箱11 見返しに「昭和十年三月 桑江克英写 五十五枚」との墨筆あり。 この記載から、本来55丁あったが、現在では47丁しか綴られていない。
1	23	7-3	歴代宝案	起隆慶2年 至万曆20年	巻31	1568年～1592年	旧県立図書館写本 桑江克英ら	久米村歴代宝案用8行×2黒野紙70丁に墨筆	27.9	18.6	0.6	70丁	中性紙箱11 見返しに「昭和九年十二月 桑江克英写 七十枚」との墨筆と「昭和十四年八月十二日校合」との朱筆あり。
1	24	7-5	歴代宝案	弘光元年	巻36	1645年	旧県立図書館写本 桑江克英ら	久米村歴代宝案用8行×2黒野紙38丁に墨筆	27.6	18.6	0.4	38丁	中性紙箱11 1丁目に「巻三十六」との黒マジック及び黒鉛筆書きのある紙片(15.9×3.5cm)あり。 見返しに「昭和十年三月 桑江克英写 三十八枚」との墨筆あり。
1	25	7-4	歴代宝案	自隆武元年 至同5年	巻37	1645年～	旧県立図書館写本 桑江克英ら	久米村歴代宝案用8行×2黒野紙93丁に墨筆	28.0	19.2	0.7	93丁	中性紙箱11 1丁目に「巻卅七」とのマジック及び黒鉛筆書きのある紙片(15.9×3.4cm)あり。 見返しに「昭和九年十二月 桑江克英写 九十三枚」との墨筆あり。 本文書では、隆武5年と記された文書があり、これに基づいて標題も示されているが、隆武は元年までである。

大分類	番号	仮番号	タイトル	副題	巻	年代	資料群	形態	法量(cm)				備考
									縦	横	厚さ	丁数	
1	26	7-1	歴代宝案	起正徳元年 至嘉靖20年	巻39	1506年～1541年	旧県立図書館写本 桑江克英ら	久米村歴代宝案用8行×2黒野紙61丁に墨筆	27.2	19.0	0.8	61丁	中性紙箱11 1丁目に「巻二十九 1～29 六十一枚」との赤ボールペン及び黒鉛筆書きのある紙片(16.1×3.0cm)あり。 見返しに「昭和九年一月五日 桑江克英写 六十一枚」との墨筆あり。
1	27	7-6	歴代宝案	起宣徳5年 至崇禎7年 朝鮮諸国王咨	巻39	1430年～1634年	旧県立図書館写本 桑江克英ら	久米村歴代宝案用8行×2黒野紙56丁に墨筆及び朱筆	28.2	19.0	0.7	56丁	中性紙箱11 1丁目に「巻之三十九 25」との黒及び赤鉛筆書きのある紙片(12.6×7.7cm)あり。 見返しに「昭和十年一月 桑江克英写 五十六枚」との墨筆及び「昭和十四年八月十六日校合」との朱筆あり。
1	28	7-7	〔歴代宝案〕	起洪熙元年 至正統7年 []咨	巻40	1425年～1442年	旧県立図書館写本 桑江克英ら	久米村歴代宝案用8行×2青野紙58丁に墨筆及び朱筆	27.8	19.0	0.4	58丁	中性紙箱11 表題の紙片が破損につき、タイトル判明せず。 見返しに「桑江克英写 五十八枚」との墨筆あり。
1	29	10-4	歴代宝案	起天順7年 至崇禎11年	巻41	1463年～1638年	旧県立図書館写本 桑江克英ら	久米村歴代宝案用8行×2黒野紙55丁に墨筆及び朱筆	27.6	18.9	0.5	55丁	中性紙箱1 1丁目に「移=咨 巻之四十一 27」との黒鉛筆及び赤鉛筆書きのある紙片(13.8×10.9cm)あり。 52丁目に、白紙の台紙1枚あり。中性紙に包んで別置。 5丁目と6丁目の間に「一二冊」との万年筆書きのある紙片(10.0×3.2cm)あり。中性紙に包んで別置。 28丁目に紙片を素材とした傍線あり。 見返しに「昭和十年三月 桑江克英写 五十五枚」との墨筆と「昭和十四年八月十六日校合」との朱筆あり。
1	30	7-12	歴代宝案	起宣徳3年 至嘉靖43年	巻42	1428年～1564年	旧県立図書館写本 桑江克英ら	久米村歴代宝案用8行×2黒野紙74丁に墨筆	28.9	19.0	0.7	74丁	中性紙箱9 1丁目に「巻四十二 ①1-42」との赤ボールペン及び黒鉛筆書きのある紙片(16.6×3.0cm)あり。 見返しに「昭和十年一月 桑江克英写 七十四枚」との墨筆及び「昭和十四年八月十七日校合」との朱筆あり。
1	31	7-11	歴代宝案	起洪熙元年 至正統5年 山南王研(石井という1字)懐機之稿	巻43	1425年～1440年	旧県立図書館写本 桑江克英ら	久米村歴代宝案用8行×2黒野紙34丁に墨筆及び朱筆	27.7	19.0	0.4	34丁	中性紙箱11 1丁目に「巻之四十三」との赤ボールペン書きのある紙片(16.7×3.0cm)あり。 見返しに「昭和八年十二月 桑江克英写 三十四枚」との墨筆及び「昭和十四年八月十日校合」との朱筆あり。

大分類	番号	仮番号	タイトル	副題	巻	年代	資料群	形態	法量 (cm)				備考
									縦	横	厚さ	丁数	
2	32	3-4	二集 歴代宝案	起康熙48年 至全49年 巻5	巻5	1709年～ 1710年	旧県立図書館写 本久場政盛ら	白紙1枚に墨筆 久米村用8行×2黒野 紙42丁に万年筆書き	25.0	16.9	0.5	1枚 42丁	中性紙箱3
2	33	11-4	二集 歴代宝案	起康熙59年 至全60年 11巻	巻11	1720年～ 1721年	旧県立図書館写 本久場政盛ら	久米村用8行×2黒野 紙62丁に万年筆書き	24.2	16.8	0.8	1枚 62丁	中性紙箱6 表紙が欠損につき、補修の痕跡あり。 7丁と8丁との間に、内題を示した紙片が挿入されてい る。
2	34	10-3	二集 歴代宝案	自雍正3年 至同5年 巻15	巻15	1725年～ 1727年	旧県立図書館写 本久場政盛ら	白紙1枚に墨筆。 久米村用8行×2黒野 紙67丁に万年筆書き	25.2	17.0	0.8	1枚 67丁	中性紙箱1
2	35	10-2	二集 歴代宝案	自雍正6年 至7年 巻 16	巻16	1728年～ 1729年	旧県立図書館写 本久場政盛ら	白紙1枚に墨筆、白紙 1枚に無記入 久米村用8行×2黒野 紙101丁に万年筆書き 合紙1枚 久米村用8行×2黒野 紙29丁に万年筆書き	25.0	17.0	2.0	2枚 101丁 1枚 29丁	中性紙箱1 写真の通り、2つの簿冊を1つに合綴し、この台帳の外題 及び内題で示された1つの簿冊と、これ以降の簿冊があ り、2つを区切るための台紙がある。後半部の1丁目に 「以後巻12」との紙片あり。中性紙に包んで別置。
2	36	10-1	二集 歴代宝案	全是雍正8年 巻17	巻17	1730年	旧県立図書館写 本久場政盛ら	白紙1枚に墨筆、白紙 1枚に無記入 久米村用8行×2黒野 紙92丁に万年筆書き	24.9	16.7	1.2	2枚 92丁	中性紙箱1
2	37	10-10	二集 歴代宝案	起雍正9 10年 巻18	巻18	1731年・ 1732年	旧県立図書館写 本久場政盛ら	白紙1枚に墨筆及び朱 鉛筆。 久米村用8行×2黒野 紙67丁に万年筆書き	25.2	16.8	0.9	1枚 67丁	中性紙箱1 朱鉛筆書きによる書き込みあり。後筆カ
2	38	10-9	二集 歴代宝案	全是雍正10年 巻19	巻19	1732年	旧県立図書館写 本久場政盛ら	白紙1枚に墨筆。 久米村用8行×2黒野 紙60丁に万年筆書き。	25.2	16.8	0.7	1枚 60丁	中性紙箱1
2	39	10-8	二集 歴代宝案	全是乾隆4年 巻23	巻23	1739年	旧県立図書館写 本久場政盛ら	白紙1枚に墨筆。 久米村用8行×2黒野 紙49丁に万年筆書き	25.1	17.0	0.7	1枚 49丁	中性紙箱1
2	40	10-7	二集 歴代宝案	全是乾隆8年 巻26	巻26	1730年	旧県立図書館写 本久場政盛ら	白紙1枚に墨筆。 久米村用8行×2黒野 紙63丁に万年筆書き 及び朱鉛筆	25.3	17.0	0.8	1枚 63丁	中性紙箱1 朱鉛筆書きによる書き込みあり。後筆カ
2	41	10-6	二集 歴代宝案	乾隆9 10年 巻27	巻27	1744年～ 1745年	旧県立図書館写 本久場政盛ら	白紙1枚に墨筆。 久米村用8行×2黒野 紙49丁に万年筆書き	25.1	17.2	0.4	1枚 49丁	中性紙箱1
2	42	4-1	二集 歴代宝案	乾隆11 12年 巻28	巻28	1746年～ 1747年	旧県立図書館写 本久場政盛ら	白紙1枚に墨筆 久米村用8行×2黒野 紙91丁に万年筆書き	24.7	17.0	1.1	1枚 91丁	中性紙箱2
2	43	4-2	二集 歴代宝案	乾隆14年 巻30	巻30	1749年	旧県立図書館写 本久場政盛ら	白紙1枚に墨筆 久米村用8行×2黒野 紙60丁に万年筆書き	24.8	16.8	0.6	1枚 60丁	中性紙箱2
2	44	4-3	二集 歴代宝案	乾隆19年 巻36	巻36	1754年	旧県立図書館写 本久場政盛ら	白紙1枚に墨筆 久米村用8行×2黒野 紙74丁に万年筆書き	25.1	17.2	0.8	1枚 74丁	中性紙箱2

大分類	番号	仮番号	タイトル	副題	巻	年代	資料群	形態	法量(cm)				備考
									縦	横	厚さ	丁数	
2	45	6-4	二集 歴代宝案	乾隆20年 全 巻37	巻37	1755年	旧県立図書館写本 久米村政盛ら	白紙1枚に墨筆 久米村用8行×2黒野紙42丁に万年筆書き	25.0	16.8	0.5	1枚 42丁	中性紙箱4
2	46	6-2	二集 歴代宝案	乾隆21年 巻38	巻38	1756年	旧県立図書館写本 久米村政盛ら	白紙1枚に墨筆 久米村用8行×2黒野紙50丁に万年筆書き	25.2	16.9	0.5	1枚 50丁	中性紙箱4
2	47	6-3	二集 歴代宝案	乾隆24年 全 巻43	巻43	1759年	旧県立図書館写本 久米村政盛ら	白紙1枚に墨筆 久米村用8行×2黒野紙33丁に万年筆書き	25.2	16.8	0.3	1枚 33丁	中性紙箱4 白紙破損あり
2	48	2-1	二集 歴代宝案	乾隆34年 巻52	巻52	1769年	旧県立図書館写本 久米村政盛ら	白紙1枚に墨筆 久米村用8行×2黒野紙16丁に万年筆書き	25.3	17.2	0.2	16丁 +1枚	中性紙箱12
2	49	3-5	二集 歴代宝案	乾隆37年 巻56	巻56	1772年	旧県立図書館写本 久米村政盛ら	白紙1枚に墨筆 久米村用8行×2黒野紙33丁に墨筆	25.1	17.0	0.4	1枚 33丁	中性紙箱3
2	50	3-6	二集 歴代宝案	乾隆41年 巻61	巻61	1776年	旧県立図書館写本 久米村政盛ら	久米村用8行×2黒野紙24丁に万年筆書き	25.1	17.1	0.5	24丁	中性紙箱3
2	51	3-7	二集 歴代宝案	乾隆41年 巻62	巻62	1776年	旧県立図書館写本 久米村政盛ら	白紙1枚に墨筆 久米村用8行×2黒野紙27丁に万年筆書き	24.9	16.8	0.4	1枚 27丁	中性紙箱3
2	52	3-8	二集 歴代宝案	乾隆44年 巻65	巻65	1779年	旧県立図書館写本 久米村政盛ら	白紙1枚に墨筆 久米村用8行×2黒野紙32丁に万年筆書き	24.9	16.8	0.5	1枚 32丁	中性紙箱3
2	53	3-9	二集 歴代宝案	乾隆48 49年 巻69	巻69	1783年・ 1784年	旧県立図書館写本 久米村政盛ら	白紙1枚に墨筆 久米村用8行×2黒野紙82丁に万年筆書き	24.9	17.1	1.3	1枚 82丁	中性紙箱3 表紙破損
2	54	3-10	二集 歴代宝案	乾隆49巻上 巻70	巻70	1784年	旧県立図書館写本 久米村政盛ら	白紙1枚に墨筆 久米村用8行×2黒野紙21丁に万年筆書き	25.2	17.2	0.3	1枚 21丁	中性紙箱3
2	55	3-11	二集 歴代宝案	乾隆49巻下 巻70	巻70	1784年	旧県立図書館写本 久米村政盛ら	白紙1枚に墨筆 久米村用8行×2黒野紙63丁に万年筆書き	25.2	17.5	0.9	1枚 63丁	中性紙箱3
2	56	3-12	二集 歴代宝案	乾隆53 同54年 巻75	巻75	1788年・ 1789年	旧県立図書館写本 久米村政盛ら	白紙1枚に墨筆 久米村用8行×2黒野紙103丁に万年筆書き	25.1	17.5	1.5	1枚 103丁	中性紙箱3
2	57	2-2	二集 歴代宝案	自乾隆55年 至同56年 巻76	巻76	1790年～ 1791年	旧県立図書館写本 久米村政盛ら	白紙1枚に墨筆 久米村用8行×2黒野紙69丁に万年筆書き	25.0	17.4	1.0	1枚 69丁	中性紙箱12
2	58	6-1	二集 歴代宝案	自乾隆55年 至56年 巻77	巻77	1790年～ 1791年	旧県立図書館写本 久米村政盛ら	久米村用8行×2黒野紙111丁に万年筆書き	30.8	17.1	1.6	111丁	中性紙箱4
2	59	4-6	二集 歴代宝案	乾隆59年 全 巻82	巻82	1794年	旧県立図書館写本 久米村政盛ら	久米村用8行×2黒野紙62丁に万年筆書き	24.8	17.1	1.1	62丁	中性紙箱2 破損前半部5丁欠落
2	60	12-5	二集 歴代宝案	嘉慶5年 巻91	巻91	1800年	旧県立図書館写本 久米村政盛ら	白紙1枚に墨筆。 久米村用8行×2黒野紙136丁に万年筆書き	24.4	17.3	2.1	1枚 136丁	中性紙箱7 表紙は欠損。
2	61	2-3	二集 歴代宝案	巻91	巻91	1800年力	旧県立図書館写本 久米村政盛ら	白紙1枚に墨筆 久米村用8行×2黒野紙55丁に万年筆書き	25.1	17.0	0.9	55丁 +1枚	中性紙箱12 表紙から12丁目までは破損。